

科目名	放射線治療学臨床実習Ⅱ			分野・必選別・単位数	専門実習科目	選択	4単位
担当教員	◎教授 岡本孝英 教授 大谷浩樹 准教授 菱木 清			配当コース	医学物理士コース	科目ナンバー	T3D203
課程	博士後期	配当年次	2～3年	配当学期	通年	授業方法	実験・実習
授業の概要	近年、放射線治療技術の高度化に伴い、放射線治療の理論と技術の修得は不可欠である。位置決め、照準をはじめとする実習を通して実務にも精通し、併せて理論の構築を図る。前年度の「放射線治療学臨床実習Ⅰ」を基礎として、さらなる実習を行う。						
授業の到達目標	臨床実習により経験したそれぞれの放射線技術に関して、医療的な側面および学問的な側面について解説ができる。						
授業計画	回数	担当者	行動目標				
	【行動目標】 「放射線治療学臨床実習Ⅰ」を基礎として、臨床の場において放射線治療技術学のさらなる実地研鑽を行うことで、より深い知識や技術を修得できる。 本実習を通して、経験豊富な先輩技師の教育とその指導の下で患者に対する医療を試み、その評価ができる。						
事前事後学修の内容およびそれに必要な時間	【事前学修】	今回の実習内容を予習し、用語の意味等を理解しておくこと。					
	【事後学修】	実習中の疑問点をまとめ、関連する成書や文献などを利用し、次回授業までに解決しておくこと。					
	【必要時間】	当該期間に60時間以上の予復習が必要。					
教科書	特に指定しない。						
参考書	特に指定しない。						
成績評価の方法および基準	臨床実習への取り組み80%、レポート20%						
その他履修上の注意事項	今回の実習内容を予習し、用語の意味等を理解しておくこと。 カリキュラムマップのDP2が、この科目と本専攻の学位授与方針との関連を示している。						